秀次倶樂部

2004.9
秀次倶楽部
会　報
vol. 2

発　行：NPO法人 秀次倶楽部　滋賀県近江八幡市出町133 天八シガ1階　TEL(0748)32-1985／FAX(0748)32-3514(ラビットハウス内)／E-mail　club@hidetugu.jp

葦うどん・葦アイス 待望の記者発表!!

前号に引き続きご報告いたします。3年に渡り秀次倶楽部が研究開発してまいりました“葦うどん”が8月3日に晴れて記者発表の日を迎える事ができました。

会員の皆様もご存知の通りNHKをはじめとするテレビ局や新聞など多くのメディアに取り上げられ“葦うどん”への注目度は今後さらに高まることが期待されます。

また、“葦うどん”と共に“葦アイス”も同時に発表いたしました。

“葦アイス”は、八幡堀に面した大杉町にあります「Gallery Space 新町浜」にて1カップ¥280で販売しております。発表以来、連日葦アイスを目当てにお越しいただくお客様もおられます。

秀次パネル展開催!!

只今、秀次パネル展を開催中です。天気の良い日に限られますが、少しでも人通りの多い場所でと考え、八幡堀に面した「Gallery Space 新町浜」(大杉町)を借りて豊臣秀次公の銅像写真や秀次公が切腹を命じられた高野山瑞泉寺の写真、秀次公ゆかりの寺や絵縁起などを織り交ぜて紹介しております。

皆様ご多忙とは存じますがどうぞお越しください。

藤田和子さん囲む会開催!!

料理旅館「大宗」女将、藤田和子さんを囲む会が開かれました。

創業者である宗太郎さんの話で始まり、苦労された事や華やかだった近江八幡の町の昔話など、その当時が目に浮かぶような貴重なお話を聞くことができました。

また、同日NPO法人秀次倶楽部の理事会も開かれ、理事長より葦うどんが完成し、記者発表までようやく来ることができたことへのお礼と、来年に向けての更なる情報発信の取り組み方などの提案をいたしました。また、出席会員の皆様に完成しました葦うどんを召し上がっていただき、今後の葦うどん販売について話し合いました。

おほりばたひろば

会員の皆様からのおたよりを紹介します。

ヨシが知られる事を期待しているんです。

田中 宏樹 さん

近江八幡市とヨシとは深い歴史と伝統を持っていました。しかし、ヨシが産業として衰退するにつれ、市民にとっては、見る(自然景観・琵琶湖を浄化する植物)だけのものとなってしまいました。

しかし、近年ヨシが見直され関心が高まり、聞く(ヨシ笛・書く(ヨシペン、ヨシ紙)に加えて、学ぶ(ヨシ博物館)・遊ぶ(ヨシ船)等々が開発(開設)され、私達もヨシと触れあう機会が増えました。

今日では、もう一歩進んで、食べる(ヨシうどん、ヨシアイス)が本格的になってきました。様々な分野を通して、ヨシが知られることを期待しています。

★皆様からのおたよりをお待ちしております。事務局宛に郵送、ファックス、E-mailにて。

【最新情報】 NEWS!!

滋賀県代表大健闘！

「全国金魚すくい大会」結果報告

8月22日に行われました全国金魚すくい大会は、出場選手数1951人と大勢の参加者で賑わいました。近江八幡予選大会優勝・準優勝者のみなさんも大健闘の結果を残してくださっています。

近江八幡予選で大人の部・優勝だった服部生史さんは16匹、(準優勝だった藤高広さんは9匹。お二人とも準決勝進出に見事な結果を残してくださいました。(小中学生の部・優勝だった大野葉月さんは、“家族とも、楽しませていただきました”と。また(準優勝だった森本美波さんは、“家で金魚を買って練習し大会に備えましたが、残念な結果に終わりました。でも貴重な体験が出来て夏休みの良い思いでとなりました。”とお母さんから結果報告の手紙をいただきました。また来年も是非チャレンジしていただきたいと思います、皆さんお疲れ様でした。

▲ 皆さん真剣そのものです。

◀ 前回大会(一般の部)3位だった服部生史さん。(写真:左前)